



「本を読むことの愉
しさを、深さを、おそろ
しさ」(全3回)
第1回 ...



「本を読むことの愉
しさを、深さを、おそろ
しさ」(全3回)
第2回 ...



イベント 終了しました

「本を読むことの愉しさ、深さ、おそろしさ」(全3回) 第3回 言葉の光を求めて ～見知らぬ土地を歩くように～

キーワード	日比谷カレッジ
内容	『知の技法』編者と共に、読書の醍醐味について考えていく全3回講座の第3回。 俳句、それは極めてわずかな言葉が切り取ってみせる世界の風光です。そんな極限的な言葉のかたちについて、どう読んでいくかを俳人の黛まどか氏と共に語り合い、「読むこと」の限りなさに触れてみる一夜。それは同時に、「生きること」の限りなさに通じていくものかもしれません。 ※千代田区民・学生の方は住所が確認できるものもしくは学生証をお持ちください
日にち	2016年03月02日(水) 18:30から20:00
日にち説明	当日の受付開始 18:00～
場所	地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
発信者	千代田区立日比谷図書文化館

定員	200名（申込順）
参加費用	500円（千代田区民・学生無料）

講師・出演者	小林康夫／黛まどか
プロフィール	<p>■小林 康夫（こばやし やすお） 1950年、東京都生まれ。表象文化論。現代哲学。東京大学大学院総合文化研究科教授を経て、現在、青山学院大学総合文化政策学研究科特任教授。東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学。パリ第10大学博士号（記号学）取得。主著に『起源と根源』『表象の光学』『歴史のディスコンストラクション』『存在のカタストロフィー』（以上、未来社）、『君自身の哲学へ』（大和書房）ほか多数。編著に『知の技法』シリーズ（東京大学出版会）など。</p> <p>■黛 まどか（まゆずみ まどか） 神奈川県生まれ。2002年、『京都の恋』で第2回山本健吉文学賞受賞。2010年4月～2011年3月、文化庁「文化交流使」としてパリを拠点に欧州で活動。オペラ「万葉集」「滝の白糸」の台本、校歌や福島県の応援歌「そして、春～福島から世界へ～」の作詞、舞台の朗読など、幅広い分野で活躍。現在、「日本再発見塾」呼びかけ人代表、株式会社ワコールホールディングス社外取締役、京都橘大学客員教授。著書に『引き算の美学』（毎日新聞社）、『うた、ひとひら』（新日本出版社）他多数。</p>

主催	公益財団法人上廣倫理財団
共催	千代田区立日比谷図書文化館

問い合わせ先	千代田区立日比谷図書文化館(03-3502-3340)
申込期間	2016年01月25日 10:00 から2016年03月02日 18:30
申込方法	電話（03-3502-3340）、Eメール（college@hibiyal.jp）、来館（1階受付）いずれかにて、①講座名(または講演会名)、②お名前（よみがな）、③電話番号をご連絡ください。


カレンダー表示 <input type="checkbox"/> イベント開催日 <input type="checkbox"/> 休館日	2016年 03月						
	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12

13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

発信日

2016.01.25

 印刷

 リストに追加

[ツイート](#)